

女性活躍！仕事のやりがいプロジェクト ～みやぎで見つけるぴったりの仕事～

【令和4年度の取り組み】

(1) リサーチ

県内外の現役大学生69名にヒアリングによるリサーチを実施した

リサーチ結果（抜粋）

- ・ コロナの影響により、大学との距離感は広がっており、大学からの機械的な情報には満足していない
- ・ 直接働いている人の声を聞きたい。
- ・ 地元企業に対する知識が乏しく、宮城の企業の情報が行き届いていない
- ・ 宮城出身者は首都圏の就職を望む傾向があり、宮城以外の東北出身者は宮城の就職を望む傾向が強い

宮城→宮城＝約40% 東北（宮城以外）→宮城＝約60%

- ・ 宮城の企業情報をより強く発信していくことが重要（宮城・仙台には好印象を持っている学生は多い）
- ・ 宮城ではたらくメリットの発信
- ・ 宮城県に愛着があり暮らしたいという思いはあるが、就職については収入や福利の面から首都圏の企業を探す傾向
- ・ 仙台に住みやすさは感じている
- ・ 憧れを感じられるロールモデルを探している

考察

- ・ 学生の県内就職の希望は高いが、県内企業に対する認知度は低い
- ・ 会社や学校からの機械的な情報発信には満足しておらず、職場の雰囲気など社員からしか聞くことができない実際の意見を重要視しているので、県内企業の認知度向上のため実践的な活動を通じたアプローチが効果的
- ・ 魅力的なロールモデルとなる県内で働く女性から話を聞き、宮城県で働くこと、暮らすことに安心感を得られれば、県内就職の後押しとなる

(2) 地元で働く女性との座談会の実施

MIYAGIでの働き方 Real Talk Day～将来のキャリアに対するモヤモヤ解消～

- 目的 県内で働く女性と女子大学生の座談会を開催し、県内で働くイメージを具体化するとともに、就職に向けた悩み・不安を明確化する。
- 内容 ①女性社会人6名によるパネルディスカッション
②女性社会人と参加学生での座談会（20分×3回）
- 開催日 令和5年2月12日（日）
- 会場 SPACES 仙台（仙台市青葉区花京院1-2-15 ソララプラザ3階）
- 参加者 学生21人

イベントアンケート（抜粋）

- ・女性ならではの悩みを相談できた
- ・様々な女性の率直な意見や人生観を聞くことができた
- ・女性だからこそ聞けることができた（出産など）
- ・学生同士の交流ができた
- ・今後も参加してみたい

(3) 仕事発見・見学セミナーの実施

パート1：宮城で活躍する職業人トークイベント

「知ってそうで実はよく知らない!?宮城のユニークな職業の「裏側」を知るイベントシリーズ」

- 目的 学生の興味関心を惹く仕事の照会、職場見学を開催し、県内就職への意欲を高める。また、セミナーには起業家も交え、やりたい仕事を実現するための手段として起業に対する意識づけを図る。
- 内容 社会人女性4名をゲストに迎えたパネルディスカッション
- 開催日 令和5年2月3日（金）
- 会場 INTILAQ 東北イノベーションセンター（仙台市若林区卸町 2-9-1）
- 参加者 学生：会場参加8名、オンライン参加10名

パート2：実際の仕事現場見学会

- 令和5年2月21日（火） 株式会社楽天球団 参加学生：7名
- 令和5年3月4日（土） 株式会社 epi&company 参加学生：5名
- 令和5年3月28日（火） 仙台国際空港株式会社 参加学生：2名

イベントアンケート（抜粋）

- ・実際に現場に足を運んで体験できる貴重な機会だった
- ・普段は見ることができない職業だったので、面白かった。
- ・職業選択に役立つ良い機会だった

【令和5年度の取り組み】

(1) 『女性活躍！仕事のやりがい発見プロジェクトチーム』による企画・検討

現役女子大学生6名で構成するプロジェクトチームを結成。企画会議を全10回開催し、令和4年度のリサーチにより得られた結果等を踏まえ、大学を卒業する女性が県内で働き、住み続けたいくなるような事業を当事者目線で企画した。

(2) プロジェクトチーム企画イベント

宮城のお宝企業発見！現役女子大生による宮城女子のための就活祭

プロジェクトチームが、当事者である女子大生目線でイベントを企画し、運営も行った。イベントでは企業からの説明だけでなく、プロジェクトチームのプレゼンによる宮城の魅力紹介、大学生と企業との座談会を行った。

■目的 宮城の魅力を発信するとともに、宮城と首都圏での就職に対するイメージと現実のギャップを解消する

■日時 令和6年2月4日（日）午前10時～午後3時20分

■場所 CROSS B PLUS（仙台市青葉区大町1丁目1-30）

■内容

【第1部】 *オンライン配信

企業説明（3社）

- ・NHK仙台放送局
- ・株式会社高速
- ・株式会社藤崎

宮城県の魅力紹介（プロジェクトチームによるプレゼン）

【第2部】

パネルトーク（6社）、座談会

- ・NHK仙台放送局
- ・株式会社高速
- ・株式会社藤崎
- ・株式会社仙台銀行
- ・仙台ターミナルビル株式会社
- ・株式会社北洲

■参加者 学生：会場参加37名、オンライン参加1名、プロジェクトチームメンバー4名（運営参加）

イベントアンケート（抜粋）

- ・就職についてのイメージが良いものになった
- ・今までなかった考え方が見付き、就活（企業）が身近なものになった
- ・企業の方の話を聞いて、仕事の内容の幅広さ、自由さを知ることができた
- ・実際に働いている方々の話を聞くことができた
- ・企業の話聞いたことがなかったので、新鮮だった

宮城のお宝企業職場見学会

■目的 就活祭で登壇いただいた企業を訪問し、実際にどのような仕事をしているのか、理解を深める。

■令和6年2月29日（木） 株式会社高速 参加学生：5名

■令和6年3月7日（木） NHK仙台放送局 参加学生：6名

■令和6年3月11日（月） 株式会社藤崎 参加学生：5名

イベントアンケート（抜粋）

- ・実際の職場の温度感がわかり、職場の雰囲気や特徴を掴むことができた
- ・普段見ることができない裏側を見ることができた
- ・実際の職場を見学し、幅広い職種の方の話聞くことができた
- ・様々な場所を見学させてもらい、会社の構造や各部署の役割を知ることができた

(3) プロジェクトチーム事業報告会

■日時 令和6年3月14日（木）午後4時～午後5時

■場所 宮城県仙台合同庁舎 201 会議室（仙台市青葉区堤通雨宮町 4-17）

■参加者 プロジェクトチームメンバー2名、県職員

事業報告書「チームメンバー感想」(抜粋)

- ・このプロジェクトの影響で、当初は予定になかった宮城県内企業が就職活動の選択肢に入るようになった
- ・この活動を通じて一番良かったのは、人脈が広がったこと。普段は関わることのない社会人の方々と様々な場面で関わることで、それぞれの持つ仕事に対するの価値観や人生観を通して、自分の視野が広がった気がする
- ・少子高齢化は仕方のないことだと思い込み、目をそらしていたが、このプロジェクトを機に、当事者意識を持って考え、悩めたことが貴重な経験だった